

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第3期 第7回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和6年8月30日（木） 13:30～16:10
会場	村上市役所神林支所 3階 大会議室 （一部リモート形式）
出席委員	オンライン：大串葉子、鷺見英司、遠藤誠作、酒井航 神林支所：加藤明、梅田久子、瀬賀秀雄 【委員7名】
欠席委員	山貝有紀子【委員1名】
事務局	上下水道課 課長 稲垣秀和 経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり、副参事 石井美勝 主事 富樫優、主事 大嶋上総 業務室 室長 齋藤健一、副参事 大矢純 工事管理室 室長 渡邊貴志、課長補佐 伊藤孝雄 副参事 伊與部貞幸、係長 小田和彦 荒川支所産業建設課 課長 渡邊修 朝日支所産業建設課 課長 鈴木健次 山北支所産業建設課 課長補佐 齋藤正栄 【事務局15名】
傍聴者	11名
次第	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）下水道使用料改定案について （2）前回までの振り返り ・水道事業の建設改良計画について ・投資財源見通し（上水道事業） ・投資財源見通し（簡易水道事業） （3）水道料金改定案について 4 その他 5 閉会 1 開会 〈本日の審議会の成立について〉 委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。

2 挨拶

<課長あいさつ>

3 議事

(1) 下水道使用料改定案について

会 長 前回審議会において審議した下水使用料について、再度説明をいただき、その後、委員の意見を踏まえて料金体系を検討していきたいと思う。

事務局 <「下水道使用料改定案について」説明…前回資料3>

会 長 下水道使用料体系3パターンのうち、どのパターンに賛同いただけるか、また、何か意見があれば、委員の方から頂戴したい。

委 員 市民にとっては、下水道事業の現状がわからないところが多いが、現状を聞いた自分としては、利用者がもう少し負担をしてもいいのではないかという意識がある。どのパターンに賛同するかについては他の委員の意見を聞きたい。

委 員 自分の考え方としては、市民の方々にどれだけ上下水道の現状を知ってもらう努力をしてきたかが一番重要だと考える。また、この審議会はこの厳しい状況を抜本的に変えるためにスタートしたものである。市民の立場からすればパターン1が一番だと思うが、この厳しい状況を打開するためにはパターン3でやむを得ないのではないかと思う。

委 員 前回の審議会において、職員の方の削減を相当図ってきたという経緯を伺い、これ以上の経費削減もなかなか厳しいという状況ということ踏まえた上で考えると、この値上げ幅はやむを得ないと考える。このパターンの中だとパターン2が妥当だと思う。

委 員 今後の村上市の人口の動きを加味する必要がある。これから高齢世帯が増えることを考えると、少量使用者への配慮も必要になってくるとは思うが、市全体の人口が減っていくことを考えると、ある程度負担していただかなければならない。そのため、パターン3をベースに考えた方がいいとは思いますが、それよりもどれだけ市民の方の心配の必要のないところまで持っていくことができるか、納得してもらえるかというのが重要だと考えている。

副会長	<p>経営の安定化の観点からすると、パターン3ということになるが、そうすると少量使用者の負担率がとても上がってきてしまう。できるだけ利用者の負担をそろえるという意味ではパターン2が落としどころだと思う。しかし、今後大幅な料金改定を抑えていくためにも、経営体としての構造改革と経営戦略の着実な執行が必要だと思う。</p>
委員	<p>基本的にはパターン2でいくしかないと思う。今回の値上げでどのパターンにしても、そんなに長くはもたないと思う。人口減少の問題とあわせて、今やっている事業はどんどん終わらせていく必要がある。今回の料金改定を行った後で、市民の方に情報やデータを示して、合意を得たうえで、対応していくしかないという感じがする。</p>
会長	<p>まず一巡したが、各委員の意見でパターン2か3が多い印象。この意見を聞いたうえで、再度委員の方々の意見を聞きたいと思う。</p>
委員	<p>他の方々の意見を聞いて、やはり値上げはやむを得ないとしても、より一層の構造改革を検討して、市民の理解をいただくしかないと考える。</p>
委員	<p>前回の審議会でも話したが、7月の市報に載せた資料は非常によかったと思う。市民の方々も好意的な印象だった。市民の方々と話す機会があったが、値上げに関しては理解されているというように自分は感じた。</p>
委員	<p>ぜひ担当課に地域の中に入って上下水道事業の現状や問題を説明してもらいたいと思う。</p>
会長	<p>各委員から意見を伺ったが、値上げは致し方ないとしても、経費削減の問題がある。職員を削減するだけでなく、今後の投資のあり方含めて検討しなければならない。また、市民の方へ情報の開示や対話をして意識の共有をしないと、我々委員の意見も浸透していかない。</p>
事務局	<p>委員の方からいただいた意見については、今後市の方から回答していきたいと思う。</p> <p>また、市民の方への見える化についても、しっかりと取り組み、市民の方の不安を解消していきたいと思う。今回示した3つのパターンについてはどれを選んでも改定率は134.4%になる。どのパターンを選んだ方が市民の方にとっていいのか、委員の意見を伺いたい。</p>

会 長	<p>今後の村上市の世帯を考えると、ふたりや独居などの世帯が増えてくると思う。しかし、基本料金が安いというよりも、財政の安定としては一定程度の基本料金をいただき、多く使用した場合の負担率は抑えた方がいいと思う。これは、子育て世代にも優しいということもあると思う。委員の皆様の見解を聞き、市の方に努力してもらうのを大前提としつつ、今回の審議会としてはパターン2でいきたいと考える。再度委員から意見を伺いたい。</p>
委 員	<p>市民の方に上下水道の財政的にどれだけ厳しい状況にあるかを説明したうえで、理解を得られるのであれば、パターン3で進めてもいいのではないかと思います。</p>
委 員	<p>値上げ幅そのものはどのパターンも同じであるため、それであればパターン2でやむを得ない。もし必要であれば値上げ幅そのものを上げる議論になる。</p>
委 員	<p>パターン2でいっても、市民の方の理解を得られるような市の対応があれば、良いと思う。</p>
委 員	<p>先ほどパターン2でいくとあったが、村上市の下水道は今後非常に厳しくなるということを知っていけば、もっと強気な姿勢を示してもいいと思う。今の料金改定では、維持管理費の補てんだけで財源が消えてしまう。この料金改定によって全国でも上位の料金になるが、そうすると、今後の料金の上げ幅はほとんど残っていない。それでも、この下水道事業の経営が好転するとは思えない。担当者がしっかりと危機感を持ったうえで、根本的な問題解決に取り組んでいく必要があると思う。</p>
事務局	<p>下水道施設については、集合処理から個別処理への転換について検討を始めたところだが、今しばらく時間がかかる。市民の方の見解も吸い上げながら、早めの転換を図っていきたい。料金体系については、3つのパターンのどれをとっても10年ぐらいは料金変更をしなくてもいいような案になっている。事務局としても、下水道の安定した経営の観点からパターン2がいいのではないかとこれまでも考えてきたところではある。</p>
会 長	<p>市民の許容度を考えるとやはりパターン2かなというところ。10年間を見越した形での料金算定になっているが、今後の課題として、資源の再配置や再投資をどうしていかを市民の方と話し合う場を設けていくような形で実施していかなければならないと思う。下水道使用料については、審議会の結論はパターン2で提案したいと思う。</p>

事務局	< 「水道事業の建設改良計画について」 説明…資料 1 >
事務局	< 「投資財源見通し（上水道事業・簡易水道事業）」 説明…資料 2 >
事務局	< 「水道料金改定案について」 説明…資料 3 >
会 長	今回の水道料金改定で5年間は大きい赤字を出さずにすむレベルでの改定の提案だったが、委員の意見を伺います。
委 員	質問だが、資料2の上水道事業の投資財源見通しにおいて、事務局の説明だと10年間収益収支は問題ないということだったが、8年目である令和14年からは赤字になっているが、これでいいのか。 もう1つ、資料3の12ページにおける資産維持費の説明において、水準でいくと3%が標準だが、今回の算定における投資の場合は約0.4%を見込んでいるとなっているが大丈夫なのか。
事務局	まず資料2については、有収水量が落ち込んだ場合の最悪の推移で示している。前年である13年度の決算が終わった時点で翌年度マイナスの見込みが見えてきた中であれば、前年度の繰越利益剰余金で調整をしながら10年間をもたせる考えでいる。 資料3の資産維持費については、償却資産の3%で見込んでしまうと、当然料金改定率が非常に高くなる。下水道使用料とあわせると、約60%の上げ幅という算定になってしまう。それでは現実的に難しくなってくるため、経営戦略の中での5年ごとの見直しということで、今までの積立金の流れも汲みながら、13%の改定率を算定している。今後5年ごとの経営状況を見ながら、その都度見直しを検討していきたいと思う。
委 員	資料3、27ページのシミュレーションにおいて、今まで合併からの10年間とこれからの10年間では人口減少率が大きくなると思うが、むこう10年間の人口減少率はどのくらいでとらえているのか。
事務局	国の方で推計している、昨年12月に示された最新の人口推移をもとに算出している。市独自のものではないが、厳しい減少率になっていると聞いている。
委 員	人口の話は今聞いたが、10年間もつのかといった時に先ほどもあったが、後半の3年間で赤字が出てしまうような収支見通しが出ている。こういうところを踏まえると、下水の話と同じで基本料金のある程度確保して、人口が減っても賄える料金にす

	<p>るしかない。財政のことを考えるとパターン3でいくしかないと考えるが、市民に提示するとなったときに、上水道と下水道でわけとらえず、上下水道として市民はとらえるので、大きく料金があがってしまうと、素直に受け入れてくれるのかという疑問が残る。</p>
委員	<p>上水道と下水道の料金を加えて口径別で考えてみたときに、13ミリや20ミリの口径を標準と考えると、パターン2が限度ではないかと感じている。</p>
委員	<p>人口の変化もあると思うが、パターン2が影響が一番少ないと思う。</p>
会長	<p>今回の水道料金については、どのパターンにおいても影響が大きくないように思うが、他の委員の方の意見も伺いたいと思う。</p>
委員	<p>会長が言ったとおり、今回の上水に関してはパターンで受ける影響に大きな差はそこまでないと思う。また、経営の面についても下水ほど危機的状況にはない。そうなると、上水道と下水道をあわせて考えた時に市民の方に納得していただける負担感をとることが基本になってくる。今後いつまでにどのくらいの資金が必要になって、どのくらいの人口で賄わなければいけないのかを示したうえで、市民の方の納得が得られるのであれば、パターン2で支障はないと考えている。</p>
副会長	<p>下水道とあわせて考えた時に、少量使用者の負担感もあって、パターン1もありだと思った。しかし、パターン2の方がどの使用水量でも同じような率で平等感があるためいいと思う。</p> <p>一方で、簡易水道のシミュレーションを見た時に、本来であれば年間4,000万円ぐらい必要な料金を1,700万とか1,800万円ぐらいしか取れていないため、一般会計から多くの繰入金をしている。予測でも有収水量が減っていくと思われるなかで、今後も一般会計で支えていくという市として考えた上での料金改定なのか。この案だとそういったところを構造改革していく意識が見えてこない。</p>
委員	<p>一番大事な部分が欠落していた感じがする。建設改良計画や資産維持費についての話があったが、結局のところ今回の料金改定案ではその財源確保が出来ていない。計画と実際の財源対策がうまくリンクしていない。資産維持費については、標準3%のところを0.4%で考えているため、5年間で2億5,000万、1年にすれば、5,000万円ぐらいでしか考えていない。そのため、ほとんど改良が進まない。上水道と簡易水道あわせて大体10億円の料金収入になると思うが、大まかな計算で、利益率約5%にしかない。これで10年もたせるという話になると、更新が間に</p>

	<p>合わず、下水道と同じ問題を抱えることになる。また、企業債残高の抑制で70%に抑制するという話があったが、残りの30%の財源を確保できるのか。これから物価もどんどん上がっていく。こういう問題が内在している状況で、13%の値上げという計画でどこまでやれるのかという不安がある。</p> <p>あとは口径別の話で、13ミリの口径で基本水量が5m³と10m³の2種類になっているが、最近の傾向としては、13ミリと20ミリの差をなくして、20ミリ以下は同じ料金にしているところが多い。そういう中で、細かく分ける方式の例は新潟県内にどれくらいあるのか、分けるという考えの理由についても教えていただきたい。</p>
事務局	<p>県内の他市の事例については、今お答えできる資料がないため、次の審議会までに確認して返答させていただきたい。水道料金の基本料金を5m³、10m³の2段階で分けていることについては、過去の上下水道料金統一検討委員会において、少量使用者の割合が多いことを考慮して、二段階に分けている。</p>
会長	<p>もう1点、起債充当率を下げるのに、投資資本不足額がまだ賄えない状態での料金設計となっていることについては大丈夫か。</p>
事務局	<p>資産維持費については、各委員ご指摘のとおりだが、こちらでも現時点で投資資金が十分であるという改定率の算定にはなっていないという認識である。そのため、今後の経営戦略10年間を見た中で、実際に5年ごとの料金の見直しを考えていかなければならないと思っている。</p>
委員	<p>最初の基本水量が5m³、10m³の話は、そういう趣旨ではなかったと思う。結局10m³以下に設定しているところも全国的には少ない。少量使用者に配慮して10m³以下にするのは構わないが、そこに5m³という選択肢を加えて誰が選択するのかという問題がある。</p> <p>資産維持費については、やはり更新がコストの中で大きな比重を占めている。そういった時にその財源を確保できていなければ、給水サービスがおろそかになってしまう。資産維持費は最低でも1.5%ぐらいは認めてもらうような議論をしていかなければならないが、最初から0.4%としてしまっている。これぐらいの資金が必要で、どれだけの値上げをしなければならぬのか、議会や市民に向けて説明していく必要がある。5年で15、16億円の事業費が必要と言いながら、0.4%で最初から考えると、事業費の半分にもならない。それで建設改良をしっかりとやっていくと本当に言っているのかという感じがした。水道も下水道も問題が先送りにされているのは厳しい状態だと思う。</p> <p>最後に、やはり市民の理解を得て問題を解決していかないとならない。何のための</p>

	<p>戦略だったのか、何のための値上げだったのか、今回の値上げで村上市の上下水道にどのくらいの効果があるのか、ということをきちんと説明できなければ市民の方々は不安になってしまう。</p>
<p>会 長</p>	<p>要するに資金がない中において、料金を取れなければ、これからの村上市はサステナブルではないということ。今後の追加投資含めた改良投資もできないどころか、維持管理もできなくなってくる。10年間を見通した料金体系ということで水道料金の提案をいただいたが、5年以内に抜本的に見直す必要があるというのが我々の付帯意見と感じている。今回は早急に料金改定をしないと、次年度に間に合わないため、上下水道ともパターン2で審議会として結論を出す。しかし、今回の案では資本費含めた資産を賄う料金体系になっていないため、5年以内に戦略含めた見直しが必要だという付帯意見を通ささせていただければと思う。</p> <p>最後に本日欠席の委員の意見をちょうだいしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>代読させていただきます。資料を拝見して、水道料金改定案についてはパターン2がいいと思う。経営の面からはパターン3がいいと思うが、一般利用者への負担を考えるとパターン2が最適であると思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>改めて上下水道ともにパターン2で決定にしたいと思うが、資産維持費等含めて、値上げが不十分だと審議会委員としては考えている。また再度、料金体系についての議論も必要だが、その前に市民の方に対しての現状報告が第一。料金でどのように賄っていくのか委員の皆様と協力して体系を作ってってもらいたいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>パターン2でいくということでお話しをいただいたが、次回の審議会では今回挙げた意見について、市の考え方を整理したうえで、詳しく議論していきたいと思う。</p> <p>また次回は、答申案として決定までいきたいと思う。</p>
	<p>4 その他 <事務局から事務連絡></p> <p>5 閉会 〈副会長あいさつ〉</p> <p>今回の議論の中で、根本的に考えていかないとならないような長期的な課題も明確になってきたと思う。そういったことを付帯意見としてだしながら、最後のまとめをしていきたいと思う。</p>